

2010.08.20 制定

2015.12.1 改訂

安全データシート

1 [化学物質及び会社情報]

製品名 メインフィルター
 (No.A1573)

会社名 : 白光株式会社
住所 : 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号
担当部門 : R&Dセンター

緊急連絡先・問い合わせ先
品質保証環境室
T E L : 06-6561-1574
F A X : 06-6568-0821

2 [危険有害性の要約]

GHS 分類 : 分類基準に該当しない。
GHS ラベル要素
絵表示又はシンボル : なし。
注意喚起語 : なし。
危険有害性情報 : 特に有害ではない。
 :

3 [組成及び成分情報] 単一製品・混合物の区別：混合物

一般名：フィルターユニット

化学名及び含有量

成分	CAS No.	官報公示整理番号	化学名
フィルター部：	9003-07-0	(6) -402	ポリプロピレン
	9002-89-5	(6) -682	ポリビニルアルコール
	7440-44-0		活性炭
			ポリエステル
			パルプ
			スチレン・アクリル系結合剤
			エチレン・酢酸ビニル共重合体
	9010-98-4	(6) -743	クロロプレンゴム
			アクリル酸アルモルエステル・メタクリル酸アルモルエステル共重合体
			石油樹脂
	8002-74-2	(8) -430	固形パラフィン
金属（枠材、リベット）部：	7439-89-6		鉄
	7439-96-5		マンガン
	7429-90-5		アルミニウム
	7440-21-3		シリコン
	7440-50-8		銅
	7439-95-4		マグネシウム
	7440-47-3		クロム
	7440-66-6		亜鉛
	7440-32-6		チタン
7440-02-0		ニッケル	

危険有害成分

毒劇法・安衛法・PRTR法 該当有害成分

労働安全衛生法：名称等を通知すべき有害物：固形パラフィン、マンガン、ニッケル、クロム、銅

PRTR法：マンガン、ニッケル、クロム

4 [応急措置]

吸入した場合

：製品形状から見て、吸入することは起こりにくいですが、溶融物のガスを吸入して喉等に異常がある場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動し、速やかに医師の診断を受ける。

目に入った場合	：	製品形状から見て、目に入ることは起こりにくいですが、製品の 小片が目に入った場合、こすると刺激があったり、角膜を傷つけることがあったりするので、こすらずに清潔な水でよく洗う。
飲み込んだ場合	：	製品形状から見て、飲み込むことは起こりにくいですが、製品の 小片を飲み込んだ場合、直ちにうがいをして吐かせる。 異常があれば医師の診断を受ける。

5 [火災時の措置]

消火剤	：	火災の場合は霧状水、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用する。
火災時の特定危険有害性	：	燃焼や熱分解、不完全燃焼により黒煙、一酸化炭素、窒素酸化物、塩化水素、その他の有害ガスを発生する可能性がある。
特定の消火方法	：	消火作業は、離れた風上から行う。 危険を避けられれば燃焼源の供給を止める。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行う。 関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火を行う者の保護	：	消火作業に際し防毒マスクを着用する。 消火作業従事者は適切な保護具を着用する。

6 [漏出時の措置]

人体に対する注意事項	：	特記事項なし
除去方法	：	注意して掃き集め、除去する。

7 [取扱い及び保管上の注意]

取扱い		
	技術的対策	: (火災・爆発の防止) 周辺での高温物、スパーク、火気等の着火源となるものの使用を禁止する。 フィルター部は可燃性である。
	注意事項	: 水洗い禁止
安全取扱い	注意事項	: 80℃を超えて加熱した場合、刺激臭のガスが発生することがある。
保管		
	適切な保管条件	: 直射日光、高温多湿を避け、冷暗所で重量物を上に積載しないよう保管する。 酸、およびアルカリとの接触を避けること。
	避けるべき保管条件	: 熱源から離して保管する。 発火源から離して保管するー禁煙。 直射日光を避けて保管する。

8 [暴露防止及び保護措置]

管理濃度	:	知見なし
許容濃度	:	日本産業衛生学会： 2.0mg/m ³ (総粉塵) ; 活性炭
保護具		
	呼吸器用の保護具	: 通常の状態では呼吸保護具は必要としないが、ほこりの多い状態の場合は検定付きの防塵マスクを使用する。
	手の保護具	: 不要
	目の保護具	: 不要
	皮膚及び身体の保護具	: 不要

9 [物理的及び化学的性質]

物理的状态		
	形状	: 固体
	色	: 枠材は銀白色、フィルターは白色
	臭い	: 無臭
	pH	: 適用外
物理的状态が変化する 特定の温度/温度範囲		

	沸点	:	知見なし
	融点/凝固点	:	知見なし
	発火点	:	知見なし
	爆発特性	:	なし
	比重/密度	:	知見なし
溶解性			
	水に対する溶解性	:	不溶

1 0 [安定性及び反応性]

安定性	:	予期される通常の保管および取扱いの条件において安定と考えられる。
避けるべき材料	:	酸、塩基
その他	:	燃焼や熱分解、不完全燃焼により、一酸化炭素、窒素酸化物、塩化水素、その他有害ガスを発生する可能性がある。

1 1 [有害性情報]

変異原性		
復帰突然変異原性試験 (エームス試験)	:	データなし
染色体異常試験	:	データなし

1 2 [環境影響情報]

残留性/分解性	:	データなし
生態蓄積性	:	データなし
生態毒性	:	データなし

1 3 [廃棄上の注意]

この製品は、容器は適法な設備、方法で処理するか、もしくは正式認可を得た処理業者に内容を明確に開示して処理を委託する。

1.4 [輸送上の注意]

国際規則	:	記載する事項なし。
輸送の特定の安全対策 及び条件	:	国連番号に該当しない。 危険な荷物には該当しない。 直射日光、雨に暴露されないように運搬する。

1.5 [適用法令]

労働安全衛生法	
名称等を通知すべき有害物	: マンガン、ニッケル、クロム、銅、固形パラフィン
粉塵障害防止規則	: 活性炭
酸素欠乏症防止規則	: 活性炭
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	: マンガン、ニッケル、クロム
消防法	: 指定可燃物
海洋汚染防止法	: 施行令別表 1-2 有害でない物質；ポリプロピレン

1.6 [その他の情報]

メーカー発行の MSDS

本データは現時点で入手できる情報、データに基づいて作成しており、
新しい知見により改訂されることがあります。

記載内容は通常の使用状態におけるものであり、危険有害性の評価は必ずしも
十分ではありませんので、使用におかれましては、用途、用法に適した安全
対策を実施の上、ご使用ください。